

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.9

1970(昭和45)年に現在の市役所庁舎が完成しました。5月2日の記念式典では、市制施行15周年と新市庁舎落成を祝い、功労者の表彰や市歌の発表などが盛大に行われました。また、翌日3日に行われた一般公開では、地上3階、地下1階の近代的な新庁舎を一目見ようと、千人以上の市民が来庁しました。

敷地面積は、6,690㎡!
総工費は約4億円かかってるよ。



ちなみに旧庁舎は現在の市役所
立体駐車場付近にあったんだよ。

市庁舎完成

1970(昭和45)年



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ』のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所所長・教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



しがまつやま キッズ集合!

おしえて『文化財』

まつやまじょうしゅう うえだ とものなお
松山城主 上田朝直

上田朝直(案独資宗調)は西暦1500年代の中ごろに活躍した武将で、松山城(吉見町)の城主の一人です。当時の松山城は、関東地方の覇権をめぐる争いの重要な拠点で、様々な武将が入れかわり立ちかわり奪いあう、まさに戦の「最前線」でした。そのなかで朝直は様々な武将に仕えながらも、城主の役目を務め、上田の一族を守り抜きました。上田氏が現在の東秩父村域を本拠地としたことから、朝直のお墓も東秩父村の浄蓮寺にあります。松山城の城下でもあった市域にも朝直に関する文化財が今も大切に守り伝えられています。

東松山市指定文化財「上田朝直寄進の十界曼荼羅」



曼荼羅は仏教の世界観をわかりやすく図や絵にしたものです。妙賢寺(松本町)で大切に保管されているこの曼荼羅は、様々な仏や菩薩・天とともに、日蓮宗(法華宗)が大切にしている「南無妙法蓮華経」の七字(題目)が、「髭題目」とよばれる独特な書き方で描かれています。

記された内容から、天文19(1550)年に上田朝直が日現上人に頼んで描いてもらい、寄進したものと推定されています。

埼玉県指定史跡「上田朝直建立青石塔婆」



清正公堂(神明町)の傍らに建てられているこの板碑は、朝直が一族や家臣の冥福を願って法華経を一十部(回)唱えたことを祈念し、元龜2(1571)年に建立したものです。上田家は日蓮宗との結びつきが強く、板碑の主尊も「題目」で表現しています。またこの板碑が朝直の生年を記す唯一の資料とされ、歴史上重要な資料と評価されています。

問
埋蔵文化財センター
TEL 27-103333 FAX 27-10334